

県広報

とよま

特集 / とよまへのカムバック
—Uターン対策にみる—



8

1993 No.295

地域から全国へ 体験活かしたネットワークづくり

ひとアスとやま
INTERVIEW
YOSHIKO MATSUBARA



全国ホームヘルパー
協議会会長
松原良子さん

「高齢や、障害などで介護や援助が必要になっても住みなれた地域社会で生活していきたいというニーズが年々高まるなか、ホームヘルパーの仕事は、これまで以上に重要視されるようになってきました。ホームヘルパーは家政婦さんのよう

に家事全般を提供するわけではありません。あくまでも利用者の方ができない部分をフォローして、自立を援助していくのが大きな役割だと思っています。今年の五月に県内から初めて全国ホームヘルパー協議会会長に就任した松原良子さんは、現在、在宅福祉の中心的役割を担うホームヘルパーの活動強化のため、サービスの在り方などの調査研究や、必要な知識と技術の修得をはかる研修、全国の情報を各地方に提供する季刊誌の発行などを通してネットワークづくりに取り組んでいます。

また、昭和五十一年に富士市の老人ホームヘルパーとして採用されて以来、お年寄りの家庭を訪問して介護、家事援助、相談などの仕事を中心に地域を駆け回ってきました。「家庭の介護では、一人ひとりが持っている独自の生活様式やいままでもどういう考え方で何をしてきたのかという事情をよく把握していないと、こちらが良かれと思ってやったことも理解していただけない場合があるんです。松原さん自身、最初の頃は、なかなか相手の方に満足してもらえず悩んだといいます。コミュニケーションをはかりながら、利用者の求めているものをつかみ、それを援助する。そうして初めてお年寄りや家族が心を開いてくれるのだということをも身を持って知ったとき、ホームヘルパーは難しくもやりがいのある仕事だと改めて感じたそうです。

これからの抱負としては、「もっと多くの人がこの仕事に参加していただけるよう、またヘルパーの仕事を手助けできるような処遇面、安全面などを改善していかななくてはなりません。また保健婦などのサービストとの連携をとって介護を支える体制づくりに協力していきたいですね。やさしいお母さんといった感じのなかにもしっかりとした口調が印象的な松原さん。肌で体験してきたことを、大きな視野が要求されるこれからの活動に生かそうと意欲満々です。

E.S.S.A.Y

夏祭りの思い出



立山博物館名誉館長
佐伯 彰一

お祭りとなると、今でも胸がさわぐ。ほかに楽しみの少なかった田舎育ち、山村暮らしのせいという気もするが、どうもそればかりではないようだ。

古い日本語で、ハレとケという言い方があったように、祭りは、ハレの日、その晴れがましきの興奮は、田舎と都会を問わない。京都の祇園祭り、東京の神田祭り、三社祭り、さらには欧米の復活祭、この頃盛んにもはやされるリオのカニバル…。

立山山麓の文字通り、山家育ちの私にとって幼い頃一番印象深かったのは、何ととっても富士市の「山王さん」、日枝神社の夏祭りだった。祖母の実家が富山にあって、「山王さん」には何度もよばれて行った。境内にずらりと並んだ露店もにぎやかで物珍しく、うれしかったが、当

時の一番のお目当ては、何よりもサーカスであった。玉乗り、綱渡りから、空中の飛び降りなど、何度見てもハラハラドキドキの連続で、見終わると大仕事でもやりとげた後みたいにくたびれてしまっていた。でも楽しい興奮疲れで、「山王さん」となると、何はさておき「サーカス」なしではおさまらなかった。

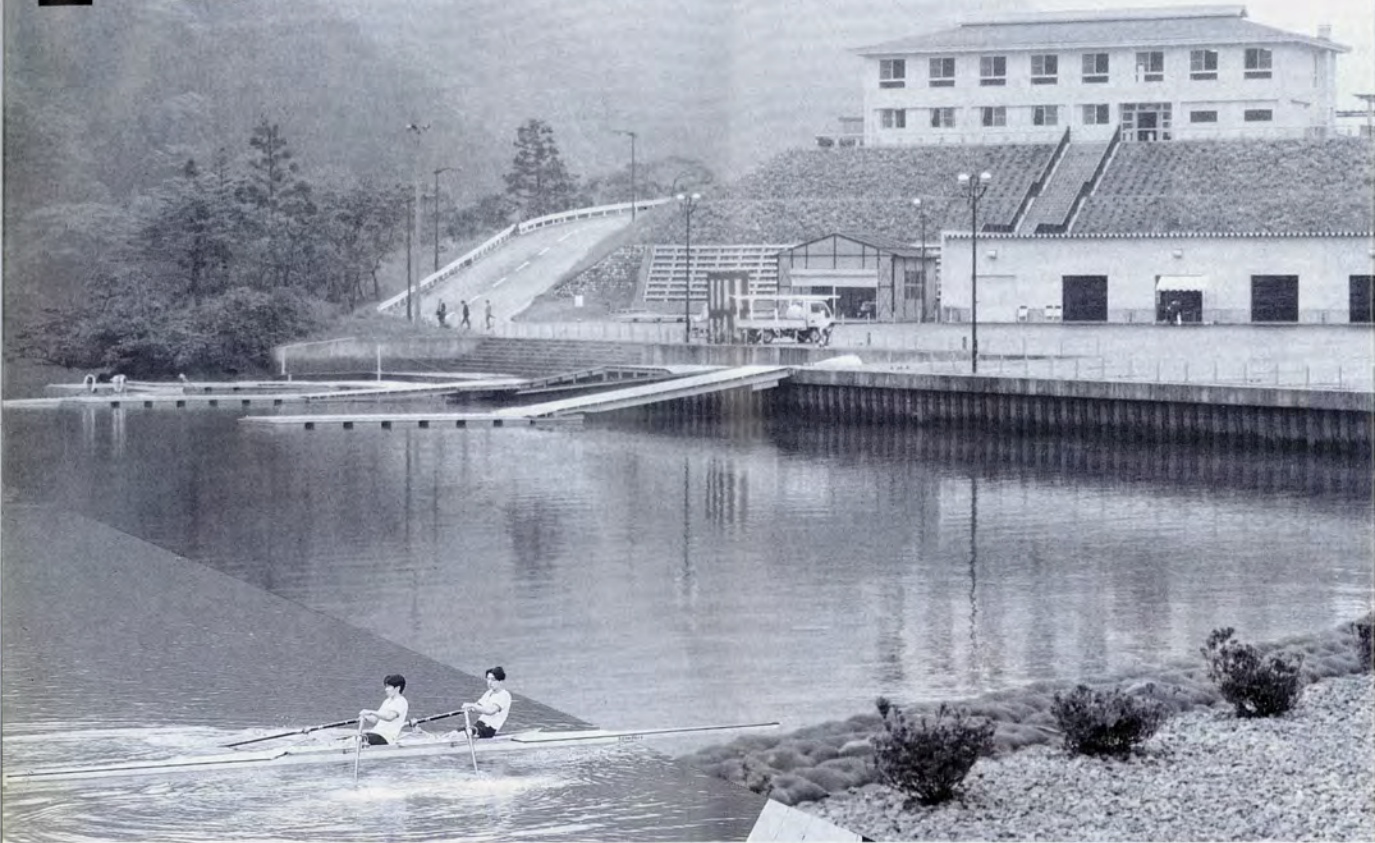
それともう一つ、「ます寿し」の味を覚えたこと―これは少年期の記憶で間違っ

ているかも知れないが、戦前の富山では、「ます寿し」は「山王さん」の前後に限られていたのではなかったろうか。とにかく現在みたいに、時節構わず、口に出るといふ食物ではなかったはずである。

しかし、一層深々とわが脳裏に焼きつけられているのは、やはり郷里立山村・芦崎寺の夏祭りの方だ。数日前から若い衆たちが神社に集まり、太鼓、ひちりき、の練習をやり出して、村中に響き渡る。

これだけでもうお祭り気分横溢でわくわくしてきたものだった。それに郷里自慢をさせていただくなら、雄山神社拝殿の芦崎寺では、神輿が古式ゆたかに堂々としていた。由緒も正しく、どこへ出しても、ひけを取らない。これが、祭りの日にはゆつたりと時間をかけて、村中を巡幸なさる。一軒ごとの前で止まっては、神主さんがその家の神棚にぬかずき、ご巡幸を告げ知らせるといふ次第。このため、村中一廻りするのになつぷり時間がかか

る。その後、神社の境内に戻ると、二台の神輿の競走(?)が行われる。境内のそれぞれのお社めがけて、いっせいに駆け出す。その激しさ、勇壮さは何度見ても息をのまずにいられた。ふるさと懐かしきかな―今は遙けき夏祭りの思い出よ。



全国のボート競技のメッカに

富山県漕艇場竣工式

ボート競技普及の拠点として神通川第二ダム湖上流で造成されていた富山県漕艇場が完成し、六月二十六日、関係者約三百人が出席して盛大に竣工式が行われました。式典では、中沖知事が「緑豊かな神通峡に囲まれたこの漕艇場が、ボート王国富山のシンボルとして、また全国の漕艇競技のメッカとして発展することを望みます」とあいさつ。来賓祝辞、テープカットに続いて、県内の有力選手による記念漕艇のほか地元細入村岩稲青年団による獅子舞が披露され、完成を祝いました。

来年のインターハイや二〇〇〇年国体の漕艇競技の会場となるこの漕艇場には、千メートルコース六レーンが確保された日本漕艇協会B級公認の競技コース、宿泊施設を備えた管理棟、ボート八十艇の収容可能な艇庫、配艇場、大会本部などがあります。

七月三十日には、第二十二回中部選手権漕艇大会と第十三回全国中学校競漕大会が、同漕艇場での初めての競技大会として開催され、神通峡の湖面上で三日間にわたる熱戦が繰り広げられました。



日韓のより深い交流のために

日韓地域間交流促進のためのセミナー

富山県と韓国とのより一層の交流推進のために、六月十日、「日韓地域間交流促進のためのセミナー」が富山市で開かれ、県内国際交流関係者、韓国進出企業、大学、観光関係者など約五百十人が出席しました。

まず、外務省の斉藤篤氏と自治省の北里敏明氏がそれぞれ「日韓交流の重要性と課題」、「韓国地方制度の概要と展望」と題して講演し、現代の韓国人の対日意識や韓国の地方自治体の状況などを詳しく解説しました。

続いて、「日韓地域間交流の現状と今後の展望」をテーマにパネルディスカッションが開かれ、産経新聞の黒田勝弘氏のコーディネートにより韓国に精通した五人のパネラーが、活発な意見交換を行いました。この中で、「共通点や違いを認め合い、より一歩進んだ強い人間関係をつくるのが重要」、「日本と韓国では物の考え方に違いがあることを認識しなくてはならない」など交流の前提条件である韓国に対する認識についての意見が数多く述べられ、出席者は今後の交流を進める上での重要なヒントをつかんでいました。



ゲストコメンテーター
羽仁 進 氏



軽妙なトークと 自然の映像美に魅せられて

ジャパン ワイルドライフ フェスティバル'93 「プレフォーラム」●開催

八月十九日(木)と二十一日(日)の四日間にあたり、県民公園太閤山ランドにおいて、自然の驚異や素晴らしさをテーマとした日本で初めてのフィルム・フェスティバル「ジャパン ワイルドライフ フェスティバル'93」子ども地球学校」が開催されます。それに先立ち、七月十二日、プレフォーラムが国際文化センター「オルビス」で開かれました。

プレフォーラムでは、同フェスティバル実行委員会理事であり、映像コンペティション選考委員会委員長も兼ねる映画監督の羽仁進氏をゲストに迎え、一足早く野生動物の映像(ダイジェスト版)を鑑賞しました。

会場に詰め掛けた百七十人余りの関係者らは、羽仁氏の解説に耳を傾けながら、その迫力ある画面や映像の素晴らしさに酔いしれました。

また、同氏は、アフリカでの映画ロケの際のエピソードなどをユーモアたっぷりに披露しながら、「いかに自然が、かけがえのないものであるか」ということを熱心に語り、最後には、「同フェスティバルへの参加料は無料であり、自然の大切さを再認識する意味でもぜひ、映像作品を見に来てほしい」と結んでいました。

主催 富山県



地域づくりは 「人づくり」から

「平成5年度地域づくりリーダー養成塾」が開講

県内各地域において地域づくりに意欲的に活動している人々および活躍が期待される人々を対象に、七月一日、「平成5年度地域づくりリーダー養成塾」が開講されました。これは各市町村の地域づくりリーダーの養成とそのネットワーク化を図ろうとするもので、今年で開講三年目になります。

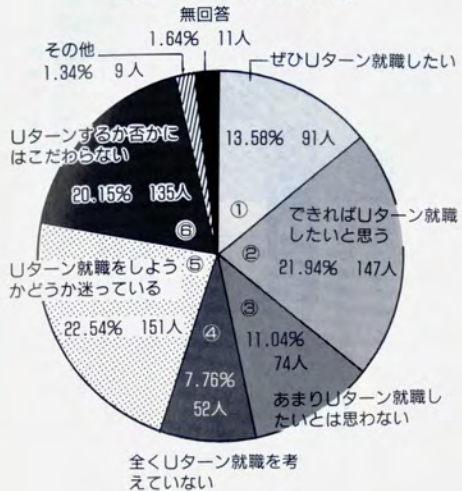
開講のあいさつの中で、塾長を務める内貴県総務部長は、地域が自主性を持って地域づくりを進めていく上での「人づくり」の重要性を強調。塾生二十二名の自己紹介にひきつづき、(財)地域振興研究所主任研究員の谷本互氏が「都市から富山の意味を考える」という演題で理想的な都市化はいかに進められるべきかについて講演を行いました。その後、塾生たちは谷本氏を交えて活発な意見交換を行い、知識を深めていきました。

同講座では今後、県外先進地視察合宿、県民公開フォーラム、研究テーマ発表会などのカリキュラムが予定されています。



一人ずつ自己紹介

表1.就職先を決めるにあたってUターンを考えますか。

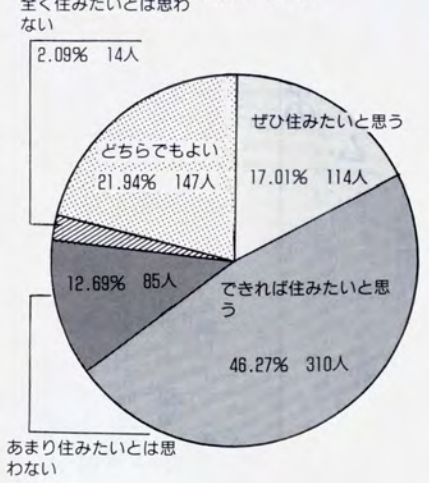


Uターンを考えているかに対しては、「Uターンしようかどうか迷っている」「できればUターンしたい」という回答が多く、また「Uターンするか否かにはこだわらない」という回答が三番目となっています(表1)。Uターンについて肯定的な学生(①②③)が三五%、否定的な学生(④⑤)が四三%を占める一方で未定の学生(⑥)が四三%を占め、これら未定の学生や否定的な学生に対し

Uターン希望者の実態

産業の頭脳部分を支える人材を確保するためには、まず、対象となる若者がUターンや富山県についてどのように考えているかを把握することが重要で、富山県出身で県外の大学に進学している学生を対象に行ったアンケート調査の報告書が、昨年まとめられました。その結果は次のようになっています。(有効回収数六七〇)

表2.富山県に住みたいですか。(将来的にも)



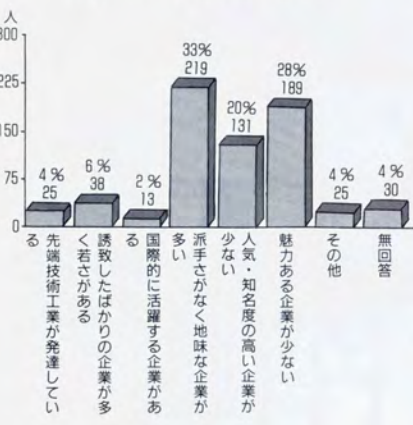
て、どのようにアプローチするかがUターン促進の決め手になるといえるでしょう。

また(将来的にも)富山県に住みたいかという質問には、「ぜひ住みたい」「できれば住みたいと思う」と答えた人が全体の六三%を占めており(表2)、Uターン就職に肯定的な学生よりも比率が高いことから、潜在的なUターン希望者の多いことがわかります。

Uターン希望の理由

Uターンしたいという理由では、「県内で就職する方が環境的にあっていいと思うから」という人が約五割を占め、つぎに「家族が望んでいるから」「県内に住む家族のことが心配だから」という答えが多くなっています(表3)。また就職先を決めるにあたりだれに相談するかについては、「家族」と答えた人が圧倒的に多く、このことからUターン促進のために、富山県の住環境、自然環境を学生に強くアピ

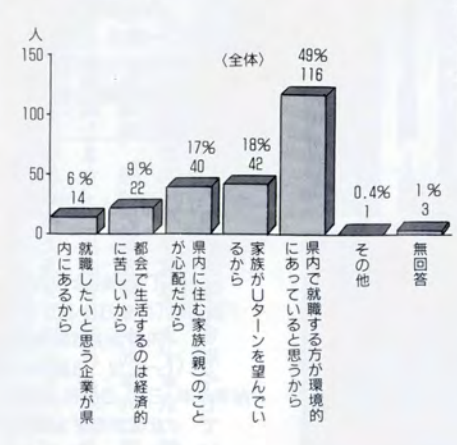
表4.富山県の企業に対してどのようなイメージを持たれますか。



「派手さがなく、地味な企業が多い」というイメージを持つ人が多く、「魅力ある企業が少ない」という

富山の企業に対するイメージ

表3.Uターンしたいと思う理由は何ですか。



ルしていくとともに家族からの働きかけも効果的といえるでしょう。

アンケートに見るUターン意識

とやまへのカムバック

特集●Uターン対策にみる

富山県は、豊かな自然環境や快適な生活環境に恵まれ、新しい産業の創造の場にふさわしい地域といえます。実際、テクノポリス計画の推進により、研究施設の整備やハイテク企業の立地が進んでいるほか、頭脳産業の集積拠点の形成をめざして頭脳立地計画が推し進められています。またそれに伴い、より高度な技術、知識を持った人材も求められるようになってきました。これから夏本番を迎え、海や山でアウトドアを十分楽しむ人々の姿と同時に、この時期には、県外に進学した学生たちが一斉に帰省する姿もよく見受けられるようになります。本県が発展していくためには、こうした若い力、すなわち若者の県内流入と定着を図り、これからの産業づくりを担う人材を確保していくことが大きな鍵となっています。このため富山県では、人材確保対策本部を設置してさまざまな事業を展開するなかでUターン対策に積極的に取り組んでいます。



富山県総合情報センター



富山県総合情報センターは、富山に魅力があつてこそ初めて実りのあるものとなります。富山県では、先端技術産業を核とした新しいまちづくりをめざすテクノポリス計画を現在進めており、その研究開発施設として工業技術センター中央研究所、同機械電子研究所、薬事研究所、食品研究所など、最先端の研究機能をもつ創造空間が整備されています。また緑豊かなインダストリアルパークとして八尾中核工業団地が整備され、先端産業の一大拠点を形成しています。さらに、自然科学研究所、情報サービス業、デザイン業等の集積により産業の高度化を図ることを目的に頭脳立地計画を推進しており、

消極的なとらえ方が多くなっています(表4)。独自の技術を持った県内企業の活躍や先端技術企業の立地にもかかわらずこのような印象を持たれるのは、PR不足が原因の一つだと考えられます。

富山の情報収集について

「どの方面から富山の情報が入ってきますか」という質問には、「帰省の際に」と回答した人が一番多く、「家族から」入ってくる人が次に多くなっています。逆に「県の公共機関から」と答えた人は、ほとんどいませんでした(表5)。またどのような情報を得たいかについては「県内企業の情報」を得たい人が一番多く、全体の四割近くを占めています。次いで「県内企業の就職ガイダンス等の情報を得たい」と回答する人が多くなっています(表6)。多くの学生が県内企業について関心を持っているにもかかわらずその情報が不足しているのが現状であり、県としてもさらにこれらの情報提供に力を入れています。

●これからの人材確保のために

1 Uターン情報センターの強化充実

東京・名古屋・大阪の各富山県事務所を設置されているUターン情報センター及び北海道人材情報センターでは、新規学卒者や都会で就職している県出身者を対象に、これまで県内企業の情報提供や転職についての相談窓口を開設してきましたが、今年度は新たに次の事業を実施します。



Uターン情報センター

Uターン相談補助員の配置

年々増え続ける相談件数に対応するため、Uターン相談補助員を配置します。これによりUターン情報センターでの職業相談はもとより大学や同窓会、婦人会等への訪問活動を強化してUターン事業のPRや就職ガイダンス等への参加、在職Uターン希望者の発掘を進めます。

求人情報の提供システム

これまで職業安定所や人材銀行などで保有するUターン求人情報は、毎月文書にとりまとめられUターン情報センターで閲覧されてきましたが、勤務地

昨年には、その中核施設となる県総合情報センターが開催されるとともに、情報サービス業やデザイン業などの企業の立地が予定されている富山イノベーションパークが竣工するなど、新しい企業活動を展開するにふさわしい環境が整ってきています。

◎富山の二十一世紀に向けた産業づくりは、新たな飛躍の段階を迎えています。今後こうした富山の魅力を県内はもちろん、県外に広く情報発信し、ひとりでも多くの若者が富山を活躍の場として選ぶことができるようにUターン対策を進めていきます。

3 県外在職若年労働者情報提供

大都市で既に就職している二十五〜三十五歳の若年労働者の意識の変化を的確にとらえるため、一人一人を対象にアンケート調査を実施して、Uターンに関する意向調査を行います。それと同時にUターン事業のPR、労働省主催のUターンフェア、講演会等の開催案内等もあわせて行います。

●新しい産業を創造する2つの計画

これらのUターン対策は、富山に魅力があつてこそ初めて実りのあるものとなります。富山県では、先端技術産業を核とした新しいまちづくりをめざすテクノポリス計画を現在進めており、その研究開発施設として工業技術センター中央研究所、同機械電子研究所、薬事研究所、食品研究所など、最先端の研究機能をもつ創造空間が整備されています。また緑豊かなインダストリアルパークとして八尾中核工業団地が整備され、先端産業の一大拠点を形成しています。さらに、自然科学研究所、情報サービス業、デザイン業等の集積により産業の高度化を図ることを目的に頭脳立地計画を推進しており、

表5.主にどのような方面から富山県の情報が入ってきますか。

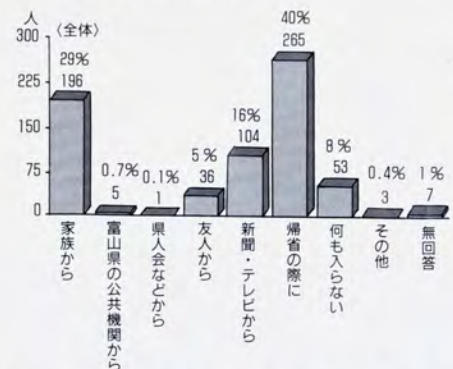
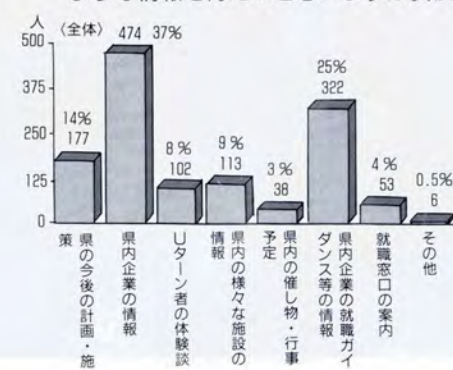


表6.あなたがUターン就職するとしたらどのような情報を得たいと思いますか。(複数回答可)



域別、業種別等による検索は困難な状況でした。これら区分別の検索が容易に行えるようにするためパソコン端末を設置します。これにより訪れる求職者の希望にあった地域、職種の求人情報が効率的に提供できるようになります。今年度は、まず東京の情報センターに設置してその後順次端末を増やしていきたいと考えています。

2 TOYAMA就職ガイダンス

本県出身で首都圏、大阪及び名古屋周辺に在住の卒業予定学生及びその父母を対象に東京、大阪、名古屋、富山の四会場でガイダンス



お問い合わせは

■富山県内

- 富山学生職業情報センター 電話0764-25-8703
- 高岡学生職業情報センター 電話0766-23-5000
- 富山人材銀行 電話0764-91-3219
- 高岡人材コンサルタント室 電話0766-23-5000
- 魚津人材コンサルタント室 電話0765-22-8152
- 富山公共職業安定所 電話0764-25-1601
- 高岡公共職業安定所 電話0766-21-1515

- 新湊公共職業安定所 電話0766-82-3195
- 魚津公共職業安定所 電話0765-24-0365
- 魚津公共職業安定所朝日分室 電話0765-82-0198
- 砺波公共職業安定所 電話0763-32-2914
- 氷見公共職業安定所 電話0766-74-0445
- 滑川公共職業安定所 電話0764-75-0324
- 小矢部公共職業安定所 電話0766-67-0310

■富山県東京Uターン情報センター

〒100 東京都千代田区丸の内1丁目8-3
国際観光会館1館 TEL(03)3287-1355
富山県東京事務所室内
相談時間 月～金曜日 9:30～17:00
休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始
交通 JR東京駅下車八重洲北口より徒歩3分

■富山県大阪Uターン情報センター

〒550 大阪市西区靱本町1丁目9-15
近畿富山会館3階 TEL(06)445-2811
富山県大阪事務所内
相談時間 月～金曜日 8:30～17:00
休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始
交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車徒歩3分

■富山県名古屋Uターン情報センター

〒460 名古屋市中区栄4丁目1番1号
中日ビル4階 TEL(052)261-4237
富山県名古屋事務所内
相談時間 月～金曜日 8:30～17:00
休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始
交通 地下鉄栄駅下車徒歩5分

■富山県北海道人材情報センター

〒060 札幌市中央区北3条西2丁目
M.Tビル TEL(011)241-4471
社北海道富山会館内
相談時間 月～金曜日 9:30～17:00
休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始
交通 札幌駅より徒歩10分

全国高校総体を成功させよう

①

開催まであと1年！ 平成6年度 全国高等学校総体 全国高等学校総合体育大会



6全国高校総体

平成6年度に、全国高校総体が富山県で開催されます。この大会は高校生最大のスポーツの祭典であり、また、健全な心身を育成し、生徒相互の親睦を図ることを目的として開催されるものです。
1年後にせまった大会の成功を目指して県、会場地町村、関係機関・団体等では、緊密な連携のもとに現在開催準備が急ピッチで進められています。その一環として、昨年募集した大会用の総合ポスター、

参加章及び入賞メダルのデザイン、スローガン毛筆作品、賛歌などの最優秀作品がこのたび決定されました。高校生をはじめ、中学生からも寄せられた多数の応募作品は、どれも熱い思いが込められた力作ぞろい。
その中から選ばれた最優秀作品は、大会を広く皆さんに親んでいただけるように、これから多方面にわたり、活用されていきます。

最優秀作品の紹介

●総合ポスター図案●



島倉恵美子さん
(富山北部高校)

●作者の意図
今を輝かんとする若さあふれる高校生のスポーツに対する喜びや、勝敗から習得することのすばらしさを表す努力をした。基本的な走る姿、球技としてのバスケットボール、水中を魚のように泳ぐ水泳の姿からスポーツの激しい動きを表現した。

●募集経過の概要
募集期間 平成4年7月20日から10月31日まで
応募状況 応募総数 59点

●参加章・入賞メダル図案●



参加章

中川康成さん
(水橋高校)

●作者の意図
富山県の象徴であるチューリップと立山連峰を描いた。



入賞メダル

柴垣知加子さん
(富山北部高校)

●作者の意図
喜びをかくしきれずに、思わず飛び上がってしまった人を表現した。

●募集経過の概要●

募集期間 平成4年7月20日から10月31日まで
応募状況 応募総数 参加章162点 入賞メダル61点

●大会賛歌歌詞●

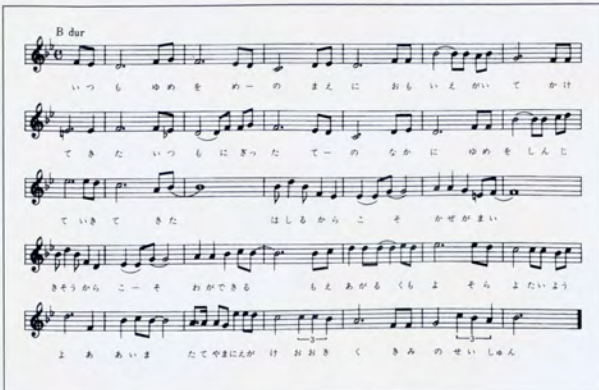
あ あ 今 君の青春
1 いつも 夢を 眼の前に
思い えがいて かけてきた
いつも 探った 手の中に
夢を 信じて 生きてきた
走るからこそ 風が舞い
競うからこそ 輪ができる
燃えあがる雲よ
空よ 太陽よ
あ あ 今
立山に えがけ 大きく 君の青春
2 今こそ みんな 知っている
熱い 心が 仲間だと
今まで 誓った 合言葉
心を 結んで 生きて行く
壁があるから 突き進み
進んだ後が 道になる
ほとばしる水よ
花よ 鳥たちよ
あ あ 今
立山に えがけ 大きく 君の青春
3 明日は 友よ 肩組んで
未来の 夢を 語らおう
明日は 笑顔で 空仰ぎ
高く あげよう 歌声を
限界の 向こうに 明日があり
はばたくときは もうともに
めぐるめく海よ
川よ 山脈よ
あ あ 今
立山に えがけ 大きく 君の青春

沼田明子さん (小矢部市立津沢中学校)

●募集経過の概要●

募集期間 平成4年7月12日から9月10日まで
応募状況 応募総数 101点

●大会賛歌曲●



藤原綾野さん (呉羽高校)

この他、ファンファーレ曲の最優秀作品として、富山中部高校の荒木章子さん、砺波市立般若中学校の谷口奈々さん、砺波高校の松本和也さん、高岡工芸高校の細川雅規さんの作品が選ばれています。

●スローガン毛筆作品●

立山にえがけ大きく君の青春

竹川千織さん
(富山女子高校)

募集期間 平成4年7月20日から10月31日まで
応募状況 応募総数 125点

●募集経過の概要●

今後の展開について
今後、大会本番に向けて、高校生による総合開会式の公開演技等の練習、「一人一役」運動による支援活動のほか、三〇〇・一〇〇・五〇日前イベントなどを展開して、全国から訪れる選手たちを暖かく迎えらるよう体制づくり、機運づくりに取り組んでいきますので、ご協力をお願いします。



空は夏色 Big Wind 波間にきこえる Adlib Sound 自然に溶け込むこの瞬間 僕らとはびっきりの夢の中

撮影 / 松田 勉

pin up Toyama



大自然に囲まれたリゾートエリア

立山山麓

レポーター…島倉 拓子(特産の女王)



▲家族旅行村パークゴルフ場

グリーンシヤワーで
心と体もリフレッシュ

家族旅行村は、誰もが気軽にリゾートライフを楽しめる場所です。澄みきった空気の中で鳥の声や風にそよぐ木々の音を聞きながら散歩をしたり、フィールドアスレチックや芝生広場で自由に遊んだり、グラウンドやテニスコートでスポーツを楽しんだり…。

中でも私のお勧めはパークゴルフ。十八ホールからなるコースは、

起伏が多く、バンカーも随所にあり変化に富んでいます。私も二ホール挑戦してみました。子供からお年寄りまで、みんなで楽しむことうけあいです。

また、汗を流した後は、コインランドリー付きのシャワー施設でリフレッシュ、おながすいたら、家族や仲間同士でのバーベキューと施設が充実しています。

▲家族旅行村貸別荘ケビン

レ、キッチン付きのケビンで別荘ライフを満喫できます。テラスに吹く涼しい風がとても爽やかでした。アウトドア派にはやはりキャンプがおすすめです。キャン



プ用具は家族旅行村管理事務所でも借りることができますし、また常設テントもあり、気軽にキャンプを楽しめます。



自然の
大パノラマも満喫

らいちょうバレーのゴンドラリフトでは、季節を問わず、四色、

計八十台のケーブルが八分で一、一八八mの山頂まで連れていってくれます。この日はあいにくの梅雨空でしたが、晴れた日には富山平野から日本海、そして立山連峰と、三六〇度のすば

らしい眺望が広がるそうです。また、山頂駅を拠点にした大品山方面や亀谷温泉方面への自然遊歩道は、大自然を満喫する絶好の周遊コースになっています。らいちょうバレーでは、パラグライダーにも挑戦できます。パラグライダーは年齢や体力を問わず誰もが楽しめるスカイスポーツといえるでしょう。

「らいちょうバレーは風のコンディションが良く、地形や広さも全国でトップクラスのフライトエリア」と話すのは、国内トップの実力を持ち、らいちょうバレーのパラグライダースクールでインストラクターを務める扇沢さん。このスクールでは、初心者でも気軽にパラグライダーを体験できる一日体験コースがあり、私もぜひ挑戦してみようと思っ

▲パラグライダー



◀「誰もが楽しめますよ」と扇沢さん

オールシーズンの
多目的施設

山野スポーツセンターは宿泊をはじめ、休憩、食事の設備が整った施設として、スポーツやレクリエーション、野外活動のほか、合宿や各種研修会など誰もが気軽に利用できます。

隣接しているB&G体育館では、バスケットやバレーボールなどの屋内スポーツやキャンプやサービスマスもできるなど、天候に関係なくオールシーズン楽しめるよう設備・運営に配慮してあります。

そのほかにも、山小屋風のレストハウス「花きり」では、らいちょうバレーを眺めながらの食事が楽しめる、大山町地域特産館では、県内のいろいろな特産品が安価で販売されています。立山山麓は人工の手をあまり加えず自然をそのまま生かした高原リゾート地。気軽に訪れ、思いきり遊べるため、これからのシーズンにはうってつけです。ぜひ皆さんも澄んだ



山野スポーツセンター SANYA SPORTS CENTER

▲山野スポーツセンター

立山山麓の主なイベント

- 8/8 かぶと虫を捕って運動会をしよう
- 8/14~16 ヘリコプター観光遊覧飛行
- 9/26 第4回立山山麓やすらぎフェスティバル
- 10/10 山麓の紅葉狩りとウォークラリー

幸せ運ぶ宝船づくり 宝船づくり 能登英一さん



「最近の宝船は昔に比べてずいぶん豪華で派手になったね」と語るのには、結納や結婚式で使われる宝船やのしなど水引を使った縁起物を作っている能登英一さん。

能登さんの家は、二百年以上続く海産物屋。その家業の傍ら、この仕事をもう六十年近く続けている。宝船は、若い頃、近くの寺にきた京都の小笠原流の先生から手ほどきを受け、本格的に作り始めたそう。

「漕組み上げるのに丸一日はかかりますね」繩をベースに水引の松竹梅、鶴亀、俵、きん着、帆などを針金でうまく組み合わせる宝

▲のしかざりもすごい

超豪華な宝船▶



「いなだは出世魚ブリの幼名で、加賀藩前田家三代目藩主利常公が夏の保存食として作らせたと伝えられている珍味である。」「新湊ではうちの店だけになってしまいましたね」と語るのはいなだ作りをしている立野豊さん。いなだは、ブリを三枚におろして骨を抜き、一日塩漬にして天日で充分乾燥させた干物で、高級贈答品として人気がある。

「品物になるまでに二十日くらいかかりますね」。四月中旬から七月初旬にかけてが、い

將軍様も珍重したという伝統の味

「いなだ」

F U R U S A T O ふるさと みてある記 ●新湊市● M I T E A R U K I

■新湊市の概要 人口 38,876人 (6月1日現在、県人口統計調査より)
面積 31.52km²

富山新港は、アルミ・木材等の企業が立地する臨海工業港。特産のかまぼこや黒作り等魚の加工が盛んである。海王丸パークでの帆船海王丸一般公開や新湊公共マリナーの建設など、海岸・河川を生かした魅力あるまちづくりを進めている。



▼イナダ天日干し

ゆっくり渡りたくなる 橋が増えてます

内川の橋巡り

新湊の市街地を流れる内川は、古くから多くの漁船が係留され、落ち着いた独特の雰囲気漂う所である。この川にここ数年で一風変わった橋が増えてきたというので、ちょっと「内川橋巡り」を試してみた。



▲奈呉の浦大橋

神楽橋▶

船に仕上げるのだが、完成まではずっと細かい作業が続く。縁起物なので取扱いにも当然のことながら細心の注意を払うそう。

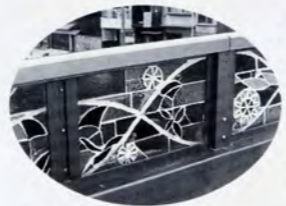
「門前の小僧、習わぬ経を読むみたいなものですかね」いまでは、能登さんの身振り手振りから覚えた息子さん夫婦も、宝船作りに関わっているという。特に結婚式などが重なる時期は、お孫さんも加わり、家族総出で作業をするそう。

「これからも工夫を重ねて、喜ばれる宝船を作っていきたいですね」能登さんの作る宝船は、これからは幸せに包まれた晴れの舞台を見守り続けていく。

「薄く削って、二杯酢か三杯酢につけて食べる」とてもおいしいですよ。栄養価が高く、独特の風味と甘さを持ったいなだは、酒・ビールのおつまみにはピッタリ。これからの季節、左党にはこたえられない味だ。

「いなだに使うブリは、脂が乗っているのはダメなんです」ここで加工されるのは、四国や九州からやってくるヤセ身のブリだ。少しでも脂があると、表面がベタついた感じになってしまう。良い品は表面に白い粉が吹き出している、家庭用の包丁では切れないほど固くなるそう。

なだ作りのシーズン。梅雨の晴れ間をぬって、天日にさらし、一枚一枚をこまめにひっくり返す。湿気があるとすぐに水分を吸ってしまいうので、干しの作業には相当手間がかかる。



▼山王橋



▲東橋



▲東橋では犬も休憩



▲表面をタワシでこすると白くなる

ユニークな橋は、全部で五本あった。西から順番に見ていくと、まず新湊漁港の東西をつなぐ「奈呉の浦大橋」。橋上のバルコニーからは富山湾が一望できる。「新西橋」のたもとには金属のミニチュメントが立っている。「神楽橋」は、欄干に一枚一枚図柄の違うステンドグラスが入っていて、夜には神秘的な雰囲気を出し出す。「山王橋」は、ちょっとした芸術空間。手をモチーフにした四つの白い大理石彫刻がぐっと目を引き、欄干は叩くと楽曲となる。

「東橋」は、珍しい屋根付きの橋で、休憩所もある市民の憩いの場だ。夜には水先案内のブイのように行く手を照らし、幻想的な世界を創り出している。

いずれも特徴的で文化の香りが高く、内川独特の風情ともうまく調和していて、ふと足を止めたくなるような橋である。また、内川周辺の整備や水の浄化作戦が進められることで、近い将来、楽しい水辺空間が、訪れる人々を一層楽しませてくれることだろう。

▲新西橋

自然の薬草と薬膳を味わおうつどい



福光町刀利の青年の山研修館では、「自然の薬草と薬膳を味わおうつどい」を開催します。野山に自生する薬草を、先人は生活の中で利用してきました。

先人の知恵に学び、薬膳料理を味わいながら、自然の豊かさにふれて、心身をリフレッシュしてみませんか。

- 日時 8月31日(火) 午前10時から
- 場所 福光町刀利 青年の山研修館
- 定員 50名(先着順)
- 参加費 1,000円
- 申込み 青年の山研修館 ☎0763・55・1222



中学生が日常生活を通して、日ごろ感じたり考えたりしていることを発表する「第15回少年の主張富山県大会」を次の要領で開催します。同年代の皆さんはもちろん、広く県民の皆様の御来場をお待ちしています。

- 日時 平成5年8月11日(水) 午後1時30分より
- 場所 富山県高岡文化ホール
- 発表者 県内の中学生10名程度
- 問合せ 県庁婦人青少年課 ☎0764・44・3138

「第15回 少年の主張富山県大会」の開催

平成5年度 「心の輪を広げる体験作文」募集について

学校や職場、地域において、障害を持つ人と持たない人との相互の心のふれあい体験を通じて、あなたが感じたことや学んだことを作文にしてお寄せ下さい。

〈応募部門〉

小学生、中学生、高校生・一般の3部門で募集します。

〈応募方法〉

400字詰原稿用紙に、小、中学生は2〜4枚程度、高校生、一般は5〜8枚程度とします。

タイトル、氏名、年齢、性別、職業又は学校、学年、住所、電話番号を記載してお送り下さい。

〈応募締切〉

9月6日(木)当日消印有効

〈表彰〉

優秀作品については12月に表彰を行います。

〈問合せ及び応募先〉

〒9300 富山市新緑曲輪1の7
県庁障害福祉課
☎0764・44・3212

『あばれ常願寺川のなぞにいどむ』

富山県有峰青少年の家では、国立立山少年自然の家と共催で、「あばれ常願寺川のなぞにいどむ」を開催します。

内容は、常願寺川の源流から富山湾までの地形や史実を調査し、あばれ川としてのなぞをさぐるとともに、自然と生活の結び付きを考えるものです。

この夏、あなたもチャレンジしてみませんか。



- 期日 平成5年8月23日(月)〜26日(木)の3泊4日
- 定員 60名(定員になり次第×切)
- 対象 小学生5・6年生
- 経費 5,400円

申込み及び問合せ

有峰青少年の家、又は、国立立山少年自然の家に問合せ下さい。
有峰青少年の家
☎(0764)81・1753
国立立山少年自然の家
☎(0764)81・1321

県民カレッジ

創造性開発講座

◇テーマ

「明日を拓く創造性を求めて」

- 日時 8月30日(月)、31日(火)、9月2日(木)、3日(金) 午後6時30分〜8時(全4回)
- 会場 富山県教育文化会館ホール
- 定員 700名
- 申込み 資料代500円を添えて県民カレッジへ ☎0764・41・8635

月 日 (曜)	演 題	講 師
8月30日(月)	創造の心理と秘密	筑波大学社会医学系教授 小田 晋
8月31日(火)	発想支援システム	北陸先端科学技術大学院大学教授 國 藤 進
9月2日(木)	人生八十年時代 -男と女の創造的生き方-	東京弁護士会 女性の権利に関する委員会委員長 中 島 通 子
9月3日(金)	創造は右脳で	慶応大学医学部外科教授 川 田 志 明

『食中毒を防ごう』

夏場は、食中毒がもつとも起こりやすい季節です。食中毒にならないよう次の3原則に気をつけて、暑い夏を乗り切りましょう。

1、清潔(食品に細菌をつけないこと)

料理の材料、まな板、包丁などはよく洗い、台所を整理整頓して清潔に心がけましょう。もちろん手洗いをひんぱんに行うことも大切です。



2、迅速(細菌の増える時間を与えないこと)

料理したものは、長く放置しないで早く食べるようにしましょう。生で食べるものは、特に注意しましょう。



※ 会合等での料理を家庭へ持ち帰って食中毒になるケースが多くみられます。

3、加熱・冷却

(細菌を殺すか、増えないようにすること)

細菌は熱に弱いので十分に加熱しましょう。また、食品を保存する時は、細菌を増やさないようにできるだけ摂氏5度以下に冷却しましょう。

※ 最近、卵の調理品による食中毒が増えています。生卵は冷所に保管し、早く消費するように心掛けて下さい。



「ようこそ富山」キャンペーン

ふりこえて
富山の温もり
あなたから



④富山ソウル国際定期航空便の就航により本県を訪れる外国人観光客は、増加しています。

こうした外国人観光客等、本県を訪れる方々を、県民一人ひとりが温かく迎える「ようこそ富山」キャンペーンを推進し、「温かい心に満ちた美しいふるさと富山」の実現をめざしましょう。

問合せ

富山県観光通商課
☎(0764)31・4111代



エキスポとやま博1周年 「JET記念フェスタ」 のご案内

エキスポとやま博の1周年を機会に、80日間にわたって繰り広げられた感動を再現し、その成果、メッセージを将来に継承するため、各種イベントを実施します。

日時 平成5年8月28日(出)

午後1時～8時30分

場所 県民福祉公園太閤山ランド

(いきいき広場等)

内容 「音と光のパフォーマンス」、

80日間の感動を再び!

(1)民族音楽無料コンサート

(りんけんバンド、レネゲ

イズステイールドラム)

(2)花火パフォーマンス

(3)ふるさと万華鏡(和太鼓

競演、ドリル演奏、創作

舞踊披露等)

問合せ

県企画調整室

☎0764・44・3113

[時短診断サービス利用のすすめ]

仕事のあとはゆとりが大事

—お手伝いします!
あなたの会社の
時間短縮—



時短の専門家である時短カウンセラーがあなたの会社におうかがいし、時短診断し、時短の方法についてアドバイスをしてくれます。

しかも、費用は無料です。今すぐ、申込みを!!

■申込先(お問合せ先)

富山県社会保険労務士会
〒930 富山市千歳町1-6-18 河口ビル2F
☎(0764)41-0432 FAX(0764)41-0432

夏の青少年を まもる運動

あなたか運動を
ひろげよう

- 「7月1日」
「8月31日」
- あ 明るい家庭をつくろう
 - た 楽しい家庭をつくろう
 - た 助け合う家庭をつくろう
 - か 会話のある家庭をつくろう

青少年の健全育成を推進するために、青少年の社会参加を積極的に呼びかけましょう。

問合せ

婦人青少年課(0764)44-3138



- 6月11日 有峰青少年の家開所式
- 6月13日 第5回警察少年柔道剣道大会
- 6月15日 6月定例県議会(提案理由説明)



- 6月16日 富山県婦人防火クラブ連絡協議会定期総会・設立10周年記念式典
児童館セミナー



- 6月19日 頼成の森水生植物園竣工式



- 6月26日 県漕艇場竣工式
国際麻薬乱用撲滅デー 626ヤング街頭キャンペーン

- 6月27日 第10回富山県清掃美化大会
'93ヤングライスクッキングコンテスト



- 7月1日 平成5年度地域づくりリーダー養成塾開講式
- 7月3日 第5回富山国際現代美術展開会式
(~9月15日)

- 7月5日 日本の心のふるさとを守り育てる飛越協議会総会

- 富山県・岐阜県知事懇談会

- 7月9日 富山県緑花推進県民会議

- 7月10日 県民公園太閤山ランドプール開き
刀利の自然に親しむつどい(~11日)

受講生募集

情報工房パソコン教室

創作心を刺激する講習会です。

〈コンピューターグラフィックス入門教室〉

- 内容 CGソフトの操作と描画・配色実習
- 開催日 8月21日(土)・22日(日)の2日間
- 定員 10名(デザイン、レタリングの基礎知識を有する方)
- 場所 富山県情報工房創作研修室

ハイテク家計簿を作る講習会です。

〈パソコン家計簿教室〉

- 内容 表計算ソフトロータス123の実習
- 開催日 8月25日(水)・26日(木)・27日(金)
- 時間 午前10時から12時まで
- 定員 16名(定員になり次第締切)
- その他 ロータス123の操作体験が必要です
- 問合せ・申込み 富山市高田527
富山県情報工房 ☎0764(44)7887

平成5年 9月街頭献血日程

日 曜	献血場所	時 間
3 金	井波町役場前	12:30~15:30
8 水	小矢部市役所前	10:00~15:30
16 木	入善町商工会館前	9:30~15:30
18 土	富山西武デパート前	10:00~16:00
19 日	富山西武デパート前	10:00~16:00
21 火	城端町役場前	12:30~15:30
25 土	魚津市「サンプラザ」ショッピングセンター前	10:00~15:30
27 月	小杉町役場前	12:30~15:30

※都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等でご確認下さい。
◎富山県赤十字血液センターでは、毎土曜日の午後も開所し(祝祭日除く)、献血を受け付けています。
富山県赤十字血液センター 富山市飯野26-1 ☎(0764)51-5555

富山県・建設省等では、道路が日常生活の中で果たす役割の大切さや、道路の正しい利用法について、理解を深めていただくため、8月10日の「道の日」に富山駅前広場一帯でストリートパフォーマンス等各種イベントを用意して93出会いふれあいの道フェスティバルを行います。県民のみならずの多数の参加をお待ちしています。



詳しくは、県庁文書学術課(0764・44・3150)まで
■日時 10月24日(日)午後1時~4時30分
■場所 富山県立雄峰高等学校
■願書交付期間 8月2日(月)~9月20日(月)
■願書受付期間 9月1日(水)~9月20日(月)
■受験手数料 6,600円

行政書士試験の実施について

終戦当時の引揚者の皆様へ

—通貨・証券などを
お返ししています—

税関では、お預かりしている次の通貨・証券などをお返ししています。
◇終戦後、外地から引揚げてこられた方々が上陸地の税関、海運局に預けられた通貨や証券など
◇外地の集結地において総領事館などに預けられた証券などのうち、日本に送還されたもの
返還のお申し出は、ご本人ばかりでなく、ご家族の方でも結構です。お心当たりの方は次のところへお問い合わせください。

■連絡・照会先
大阪税関監視部特別監視官
〒552 大阪市港区海岸通2丁目1番4号
☎06(576)3108
☎06(576)3115

伏木税関支署
〒933-01 高岡市伏木錦町11番15号
(伏木港湾合同庁舎)
☎0766(44)0163

伏木税関支署 富山出張所
〒931 富山市東岩瀬海岸通17番地2号
(富山港湾合同庁舎)
☎0764(37)9895



水の週間

8月1日~7日

水は、雨として地上に降り、川から海へ流れ、また雲に姿を変え、雨になるという大きなサイクルで自然界を循環しています。

人間が使う水は、いわば「自然界から借りている水」ですから、できるだけ元通りにして自然界に返すことが基本です。

一人ひとりが水を大切に使い、豊かできれいな水を次の世代に引き継ぐように努めましょう。

表紙	撮影／滝川邦彦(日本写真家協会会員)
表2	エッセイ／佐伯 彰一
P1	ひと／松原 良子
P2	クロースアップ
	①日韓地域間交流促進のためのセミナー
	②県漕艇場竣工式
	③地域づくりリーダー養成塾
	④JWF'93プレフォーラム
P10	特集／Uターン対策
P12	トビックス／高校総体準備状況
P14	PIN UP TOYAMA
P16	撮影／松田 勉
P18	とやま遊学感／立山山麓
	ふるさとみてる記／新湊市
	県からのお知らせ

七月十日と十一日の両日、「刀利の自然に親しむ集い」が県青年の山研修館で行われました。表紙に登場して下さった溝口、浦田さん一家をはじめ、参加された皆さんは、森林や昆虫の生態を観察したり、バードウォッチング、巣箱づくりなどを楽しんでました。湖と緑と野鳥のさえずりに包まれて、思い思いに自然とのふれあいを深めていました。



みなさんの相談窓口

交通事故については
富山県交通事故相談所東別館1階
☎(0764)31-4111内4400

相談110番
家庭問題・悪質商法・寛せいの刺など、どんな相談にも応じます。
☎(0764)42-0110

シルバー110番
高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
富山市舟橋南町5-14
社会福祉会館内
☎(0764)41-4110

消費生活については
消費生活センター
富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル内
(一般相談は)
☎(0764)32-9233
(金融相談は)
☎(0764)33-3252

消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1
本丸会館内
☎(0766)25-2777

県政については

県民相談室	富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎(0764)31-4111代
高岡地方県民相談室	高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎(0766)21-9411代
魚津地方県民相談室	魚津市新宿10-7(総合庁舎内) ☎(0765)24-5311代
砺波地方県民相談室	砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎(0763)33-5151代

物価ダイヤル
物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。
☎(0120)16-7400 (県庁県民生活課内)

県からのホットニュース 見て、聞いて、ご意見をお寄せください。

TV

テレビ広報

- チューリップテレビ 毎週土曜日AM9:30~9:45 「志の輔のふるさとトーク」
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30 「112万人のひろば〜クイズ/フォーカス・イン」
- 北日本放送 毎週日曜日AM11:00~11:30 「こんにちは富山県です」

8/1 水とのふれあいを大切に
8/8 爽りあるシルバーライフに向けて
8/15 JWF〜こども地球学校〜
8/22 インターハイまであと一年
8/29 私たちのふるさとづくり④

RADIO

ラジオ広報

- FMとやま 「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。
毎週月〜金曜日 AM9:50~9:55

NEWS PAPER

新聞広報

- 北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

集記 高
校時代の思い出といえが部活動。県代表になど大それた思いはありませんでしたが、汗まみれになって練習に明け暮れていた。努力しても報われないことはある。でも努力しなければ絶対報われないんだと自分自身に言い聞かせて……。来年は、富山でインターハイが開催されます。当時は振り返りながら、全国から集まる選手たちを一生懸命応援したいと思っています。(K)

夏
のイベントパンフを眺めているうちに、心は海へ山へと飛んでいく。原稿を早く書き上げて遊びに行きたいと思うのだが、まだ次の取材先も決まらな。ああ……今年の夏もあつという間に過ぎて行ってしまおうのだろうか。(A)

北
海道南西沖地震に人知を超えた天災の驚異を痛感した。日本海中部沖地震に続き、北海道・東北を襲い、故郷青森を含め北海道の多くの人命を奪ったこの災害は、人ごとではない。奥尻島の被災状況の映像に愕然とし、悲痛な思いにかられた。

被災地域の一日も早い復興を心から願うとともに、不幸にも亡くなられた方々のご冥福をお祈りします。(O)



魚の天気図⑭

今話題の魚

好奇心旺盛なイシダイ

「歯」と「縞」の変化

チクッチク……また刺された！ クラゲというが、その正体は不明。夏、海水浴場でよくやられたものである。遠い昔の話であるが、越の潟(今の富山新港)で泳いでいる時につくものがあった。ウキツノガイに刺された感じではなく、たもてすくってみるとそれは、イシダイの幼魚であった。

イシダイの産卵期は、四〜七月。夏、海草の下に二〜三cmの稚魚が群れている。五cm位までは普通の魚のように犬歯もち、泳いでいる人に寄ってきて、腹や足をつつく。十cm位になると、七本の横縞が鮮やかになる。しまだい、ななぎだ、である——成長につれて、この縞はうすれる。

完全に消失するのはオスの方で、メスは薄れるが縞あとは残るようである。三十cm以上の成魚では、縞は目立たなくなり、頭部が黒ずんでくる、黒口(くろぐち)と呼ぶ。

五十cmをこえる老魚では、頭の黒色も次第に色あせて白っぽくなり、口白(くちしろ)・鼻白(はなじろ)と呼ばれる。この呼称、イシダイとイシガキダイの両種の混称である。

イシダイ科の魚には、イシダイとイシガキダイがいる。イシダイは横縞、イシガキダイには石垣状の斑紋があり、一見して区別できる。

ともに、成魚では嘴状の「接合歯」をもつ。列をなす犬歯の間に石灰質が入りこみ、堅い一枚歯になるので「癒合歯」ともいう。

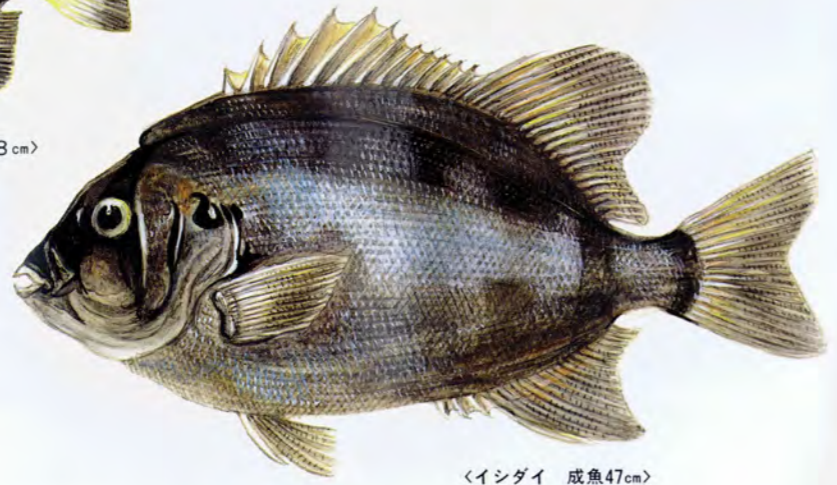
この丈夫な歯で硬い貝殻をかみ砕いて貝を食い、欠けるとスベアが押し出でてくる。

門司水族館で、大海亀の水槽にイシダイを同居させたら、あの堅固な甲羅に穴をあけ殺したとき。特に、犬歯が接合歯に変わり始める頃は、やたらと、何でもつづく。近くの魚をはじめ、ダイバーのマスクガラスをもつづく。また、この習性を利用して、輪くぐり・玉ころがしを学習させ、水族館の人気者に育てることもできる。

これからの盛夏、磯の岩場で、イシダイが釣れる。生け作りにして賞味する。でも、味にくせがあつて敬遠する方は「洗い」に作るという。イシダイの塩焼きの焼きたては格別——まさに、夏の味覚であろう。



＜イシダイ 幼魚8cm＞



＜イシダイ 成魚47cm＞

眺めのいい場所教えて下さい

美しい眺め、心のなごみ眺め、思い出に残る

眺め…あなたにとって「ふるさと」の眺め」は

どのようなものですか。県内には、眺めのい

い場所がたくさんあります。たくさんの人に

みてもらいたいあなたのおすすめの眺めを

教えてください。富山を代表するような眺め

はもちろん、あまり知られていないけれどすて

きな眺めも大歓迎です。

ふるさとのながめ さがしてみませんか

応募に当たっての注意

- 誰でも気軽に行ける身近な場所からの眺めを選ぶものです。電車、バス、マイカー、自転車などで簡単に行ける場所を選んでください。また、他人の土地に無断で入りこむようなことはしないでください。
- 見通しのよいところからの眺めを選んでください。目の前の建物や樹木だけしか見えないようなところは避けてください。
- 眺める季節、時刻、天候などは問いません。この募集を始める以前に撮影された眺めでも結構です。

応募できる人

応募方法

どなたでも応募できます。

裏面に応募用紙となっています。眺めのいい場所の地図と眺める方向、あなたの住所、氏名など必要事項を記入のうえ、眺めの写真を貼って各市町村役場の企画担当課に持参又は郵送してください。

締め切り

平成5年9月30日(木) (当日消印有効)

選定

応募された眺めは、選定委員会で100地点程度を選定し、公表します。

謝礼

選定された眺めを応募していただいた人のうちから抽選で300名様に特製テレホンカードを進呈いたします。

お問い合わせ

富山県企画県民部企画調整室
TEL 0764-31-4111(内線3038)